



みなみ風

学校教育目標 人間力を高め、未来にはばたく児童生徒の育成

合言葉 私たちの最上位目標は、子どもの幸せ

学園だより 令和6年1月31日 第28号 みなみ学園義務教育学校

大谷選手、グローブをありがとうございます！～オオタニさんタイムが始まりました～



「この度、日本国内約 20,000 校の全小学校に、各 3 つのジュニア用グローブを約 60,000 個寄贈いたします。野球を通じて元気に楽しく日々を過ごしてもらえたら嬉しいです。このグローブを使っていた子供達と将来一緒に野球ができることを楽しみにしています！」(大谷選手 談)

みなみ学園にも冬休み明けにグローブが到着しました！毎週火・水・木曜日の昼休みに、このグローブを使ってキャッチボールを楽しむ「オオタニさんタイム」を設定しています。皆が順番にグローブを使えるよう、学年ごとに「オオタニさんタイム」を楽しみたいと思います。また、学級活動や道徳の授業の中で、かなえたい夢や目標をどう実現していくかを話し合う際などに、このグローブを活用したいと考えています。

1/25 (木) 6・7年生がその道の「プロ」に学びました

さまざまな職業の方から職業観や仕事についての経験談を聞くを通して、自分自身の生き方を考えるとともに、将来の進路選択や職業観を深めることを目的に、6・7年生がその道の「プロ」に学びました。お迎えしたのは、米田 清哉様(美容師)、関田 祐莉様(医師)、佐藤 佑様(ベント販売員)、岩井 学様(愛玩動物看護師)の4名です。

美容師の米田様からは、洗練された技術だけではなく、お客様とのコミュニケーションや何事にも興味をもつことが大事だというお話をうかがいました。

医師の関田様からは、判断に迷うこともありますが、患者さんのために常に勉強し、最善を尽くしているというお話をうかがいました。また、社会に出てからも、勉強は必要だと話してくださいました。

ベント販売員の佐藤様は、営業担当として、お客様に寄り添ったコミュニケーションを心がけていると話してくださいました。車好きの子どもたちが多く、自分の好きな車種を佐藤様に伝えるなど、分科会が盛り上がりました。

愛玩動物看護師の岩井様は、「診る」と「見る」の違いをあげ、言葉を発しない動物たちを「見る」(状態を把握し、ケアする)ことの喜びややりがい、苦勞などについて話してくださいました。

今回の経験を通して、子どもたちは、その道のプロとしての「信念」「真剣さ」「責任感」などといった「プロの覚悟」を感じ取ることができたのではないかと思います。今後の進路選択についての考えを深めるよい、きっかけになりました。

1/16 (火) 5年生が土面づくりを行いました



陶芸家の数納さんご夫妻を講師にお招きし、5年生が土面づくりを行いました。作品は、ゴールデンウィークに行われる予定の「陶芸祭」に出品されます。子どもたちは、「自分の思いがいっぱいの、どんな土面にするか。」についてじっくり考え、作品づくりに取り組みました。どんな風に仕上がっているか、今から楽しみです。

1/23 (火) 3・7年生が永久歯対策事業(歯磨き教室)を行いました

笠間市保健センターから歯科衛生士さんをお迎えして、むし歯予防についてのお話と口の状態に応じたブラッシング指導をしていただきました。学童期は、乳歯と永久歯が混在し、歯が磨きにくくなる時期であり、また、思春期になると、歯肉炎が見られるようになるといわれています。歯垢の染め出しでは、磨き残した歯が赤く染まるため、3・7年生の子どもたちは、今後、どこをどんなふうに磨けばよいかを理解することができました。



1/26 (金) 避難訓練(原子力災害)を行いました



放送をよく聞いてすぐに避難

今年度3回目の避難訓練を行いました。今回は、原子力災害対応の避難訓練です。これまで2回の避難訓練と違い、今回は子どもたちには事前に避難訓練があることを知らせないで訓練を行いました。

外で遊んでいた子どもたちは、原子力災害からの避難を呼びかける放送が入ると、急いで校舎内に避難していました。そして、

- 1 うがい、手洗いをする
- 2 窓やカーテンを閉める
- 3 エアコンや換気扇の電源を切る

などの指示をよく聞き、行動することができました。災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。訓練には、いつでも真剣な態度で臨むことが大切であることを、子どもたちに伝えました。

1/24 (水) 8年生が7年生に職場体験報告を行いました

子どもたちが事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりすることを目的として、毎年8年生は、職場体験を行っています。今年度の8年生は、それぞれ、茨城空港や笠間図書館、くるす保育所、イタリアン・トマトなど、自分が希望する職場で貴重な体験をすることができました。そこで体験したこと・学んだことをまとめ、7年生にプレゼンテーションしました。7年生は、集中してプレゼンテーションに耳を傾けるとともに、積極的に質問することもできました。7年生にとって、8年生での職場体験の見通しが大きいにもたえたことと思います。



学校生活の一コマから・・・



昇降口の開錠時刻は、7時40分です。教室で朝の用意を手際よく済ませると、子どもたちは、グラウンドに集まってきて、なわとびを始めます。「いろいろな跳び方ができるようになりたい。」と個人跳びの練習に取り組む様子が素晴らしいです。また、7年生など後期課程生が大縄を回し、低学年の子どもたちが跳んでいる様子には、心が温まります。



4年生が真剣な表情で百人一首に取り組んでいます。百人一首を通じて、当時の風習や暮らし、貴族のこころを知るきっかけにもなることでしょう。また、百人一首は、集中力や聞く力を高めることにも効果的だと思います。

(文責：野尻)